

外 科 学

中 卷

〔监修〕 福 田 保

外 科 学

中 卷

〔監修〕 杏林大学学長 福田 保

〔編集者〕 大井 実 若林 修 榊原 仟
(東京慈恵会医科大学名誉教授) (日本大学教授) (東京女子医科大学教授)

〔執筆者〕 喜多村孝一 石井昌三 富沢仁昭 小谷 勉
(東京女子医科大学教授) (順天堂大学教授) (順天堂大学講師) (大阪市立大学教授)
鈴木 隆 木村忠司 恒川謙吾 桑原悟 藤森正雄
(大阪市立大学整形外科) (愛媛大学教授) (京都大学講師) (鳥取大学教授) (群馬大学教授)
早田義博 榊原仟 織畑秀夫
(東京医科大学教授) (東京女子医科大学教授) (東京女子医科大学教授) (執筆順)

第 4 版

医 学 書 院

TEXTBOOK OF SURGERY

Volume II

Editors

TAMOTSU FUKUDA 福田 大輔 [著者・監修]

President, Kyorin University

MINORU ÔI

Emeritus Professor of Surgery, The Jikei University School of Medicine

OSAMU WAKABAYASHI

Professor of Surgery, Nihon University School of Medicine

and

SHIGERU SAKAKIBARA

Professor of Surgery, Tokyo Women's Medical College

© Fourth Edition June 1973

IGAKU SHOIN Ltd.

TOKYO, JAPAN

Printed & Bound in Japan

目 次

第18編 神 経

第1章 脳・脊髄の外科	喜多村 孝一	1
I. 診断学総論		1
A. 家族歴、既往歴、現病歴		1
B. 神経学的検査		2
1. 運動麻痺		2
2. 運動過多		5
3. 運動失調		5
4. 感覚障害		6
5. 反射		6
6. 脊髄の障害		9
7. 脳神経の障害		10
8. 大脳半球の障害		13
9. 視床および視床下部の障害		15
10. 脳幹の障害		15
11. 小脳の障害		15
C. 髓液の検査		16
1. 腰椎穿刺		16
2. 後頭下穿刺		21
D. X線検査		21
1. 頭部X線単純撮影		21
2. 脳血管撮影		26
3. 気脳撮影、気脳室撮影、ヨード脳室撮影		35
4. 脊髄撮影		43
E. 脳波		45
1. 実施法		45
2. 正常脳波		46
3. 異常脳波		47
F. 放射性同位元素による検査		54
G. 超音波診断法		57
II. 頭蓋内圧亢進症状		59
III. 脳腫瘍		61
A. 脳腫瘍の一般症状、経過および診断		62
B. 脳腫瘍の分類・発生頻度		65
C. 神経膠腫		67
D. 體膜腫		81
E. 下垂体腫瘍		87
F. 血管性腫瘍		93
G. 神経鞘腫		94
H. 先天性腫瘍		96
I. 脳絡叢乳頭腫		99
J. 転移性腫瘍		99
K. 肉芽腫		100
L. 脳寄生虫症		100
M. クモ膜炎		100
N. 偽腫瘍		101
IV. 血管性病変		101
A. 動脈瘤		102
B. 動静脈瘤、動静脈瘻、動静脉奇形		109

C. 血管腫	111
D. 血管閉塞・狭窄	111
V. 脊髄腫瘍	113
A. 硬膜内髓外腫瘍	113
B. 髓内腫瘍	117
C. 硬膜外腫瘍および脊椎腫瘍	117
D. クモ膜炎	118
E. 脊髄腫瘍の診断	119
F. 脊髄腫瘍の治療	120
VI. 椎間板ヘルニア	121
VII. 外科的感染症	123
A. 脳膿瘍	123
B. 硬膜外膿瘍	126
C. 化膿性脳膜炎	127
D. 静脈洞炎、静脈洞血栓	127
VIII. 脳神経疾患	128
A. 三叉神経痛	128
B. 顔面神経麻痺	134
C. Ménière 症候群	136
D. 舌咽神経痛	137
IX. 水頭症	138
X. 先天性および発育異常	144
A. 二分頭蓋(頭蓋披裂)、脳瘤、脳膜瘤、潜在性頭蓋披裂	144
B. 二分脊椎(脊椎披裂)、脊髓髓膜瘤、髓膜瘤、潜在性二分脊椎	146
1. 潜在性二分脊椎	147
2. 髓膜瘤と脊髓髓膜瘤	147
C. 脊髓空洞症、水髄症	149
D. Diastematomyelia	149
E. Dermal sinus tract	150
F. Dandy-Walker 症候群	150
G. Chiari-Arnold 症候群 (Arnold-Chiari 症候群)	151
H. 頭蓋底陷入症	152
I. Hydroencephalodysplasia	154
J. 頭蓋狭窄症(狭頭症)	155
XI. 不随意運動の外科的治療	157
A. 薬物治療	158
B. 手術療法	158
XII. てんかん	159
A. 原因、分類、症候、診断	159
B. 治療	163
XIII. 疼痛の外科的治療	165
A. 脊髄神経後根切断	166
B. 脊髄前側索切断	166
C. 大脳皮質知覚領野切除	167
D. 視床破壊	167
E. 前頭葉白質切離および前頭葉部分切除	168
F. 交感神経節切除	168
XIV. 精神障害に対する外科	168
XV. 脳手術	168
A. 手術前準備	168
B. 麻酔	169
C. 開頭術一般	170

D. 脳手術後の一般的処置・注意・合併症.....	183
XVI. 脳外傷.....	石井昌三 富沢仁昭..... 187
A. 頭部外傷の分類.....	187
B. 頭皮の損傷.....	189
C. 頭蓋骨骨折.....	190
1. 頭蓋骨骨折の発生機序.....	190
2. 頭蓋骨骨折の臨床.....	191
D. 脳外傷.....	195
1. 全般的びまん性脳外傷.....	195
2. 限局性脳損傷.....	198
E. 脳幹損傷.....	203
脳幹部損傷の症状.....	204
F. 頭蓋内出血.....	205
1. クモ膜下出血.....	206
2. 硬膜外血腫.....	206
3. 硬膜下出血.....	209
G. 頭部外傷の続発症.....	217
1. 頭蓋骨骨折に関連した続発症.....	217
2. 感染症.....	219
3. 頭部外傷に続発する血管性障害.....	219
4. 脳神経損傷.....	221
H. 頭部外傷の治療.....	222
1. First aid	222
2. 頭部外傷急性期の治療.....	222
3. 頭部外傷亞急性期ないし慢性期の治療.....	228
I. Post-concussion syndrome	229
第2章 末梢神経の外科	小谷 勉 鈴木 隆..... 235
I. 解剖	235
II. 病態生理	235
A. 末梢神経の変性.....	236
B. 末梢神経の再生.....	237
C. 末梢神経損傷の分類.....	240
III. 検査法	242
A. 非観血的検査法.....	242
B. 観血的検査法.....	247
IV. 診断法	247
V. 治療	252
A. 手術の時期.....	252
B. 末梢神経の手術の一般的注意事項.....	252
C. 神経剥離術.....	253
D. 神経縫合術.....	254
E. 予後の判定.....	256
VI. 個々の神経損傷	257
A. 上肢の神経損傷.....	257
1. 腕神経叢.....	257
2. 筋皮神経.....	261
3. 腋窩神経.....	261
4. 桡骨神経.....	262
5. 尺骨神経.....	263
6. 正中神経.....	263
B. 下肢の神経損傷.....	267
1. 大腿外側皮神経.....	267
2. 大腿神経.....	268

4 目次

3. 坐骨神経.....	268
4. 脛骨神経.....	269
5. 胫骨神経.....	270
VII. 複合損傷（血管損傷を伴う神経損傷）.....	270
第3章 自律神経の外科	木村忠司 恒川謙吾.....
I. 総論	272
A. 自律神経系の構造と機能.....	272
1. 節前線維と節後線維.....	272
2. 交感神経幹、脊椎前神経節.....	273
3. 副交感神経.....	273
4. 交通枝.....	274
5. 自律神経の化学伝達物質.....	276
6. Cannon の除神経の法則.....	278
7. 自律神経の求心線維.....	278
8. 関連痛.....	280
B. 身体各部の交感神経支配.....	280
1. 頭部および頸部の交感神経支配.....	283
2. 上肢の交感神経支配.....	284
3. 下肢の交感神経支配.....	284
4. 胸部の交感神経支配.....	285
5. 腹部および骨盤内臓の交感神経支配.....	286
6. 四肢に出現する関連痛.....	287
II. 各論	288
1. レーノー病.....	288
2. レーノー症候群.....	289
3. ビュルガー病（閉塞性血管内膜炎、閉塞性血栓性血管炎）.....	291
4. 閉塞性動脈硬化症.....	294
5. 急性動脈閉塞症.....	294
6. 神経性多汗症.....	296
7. 紅痛症.....	296
8. いたみを主訴とする疾患.....	296
9. 呼吸器系に対する自律神経の外科.....	301
10. 消化管に対する自律神経の外科.....	303
11. 泌尿生殖器系に対する自律神経の外科.....	313
12. 生殖器障害に対する自律神経の外科.....	313
13. 自律神経の腫瘍.....	314
14. 交感神経の手術.....	317
a. 頸部交感神経切除術.....	317
b. 肋膜外上部交感神経切除術.....	318
c. 敗窩筋傍膜上胸部交感神経切除術.....	318
d. 腹部交感神経切除術.....	319
e. 仙骨前交感神経切除術.....	321
f. 動脈周囲交感神経切除術.....	321
g. 特発性脱疽のいたみに対する末梢知覚神経遮断法.....	322
h. 交感神経節麻酔法.....	323
第19編 頭部.....	桑原悟.....
I. 頭皮	329
1. 解剖.....	329
2. 頭皮血腫.....	331
3. 頭皮外傷.....	331
4. 頭皮の剥離創.....	332
5. 頭皮の炎症.....	333

6. 頭皮の火傷.....	333
7. 頭皮の腫瘍.....	333
II. 顔面	334
A. 顔面外傷.....	334
1. 解剖学的事項.....	334
2. 損傷.....	335
B. 眼およびその付属器.....	340
1. 眼窩部外傷.....	340
2. 眼瞼.....	340
3. 化学的火傷.....	341
4. 角膜内異物.....	341
5. 眼球内異物.....	341
6. 眼球外傷.....	342
7. 眼球摘出.....	342
8. 外傷性白内障.....	343
C. 鼻.....	343
1. 外傷.....	343
2. 疾患.....	343
D. 耳.....	345
1. 先天性奇形.....	345
2. 損傷.....	345
3. 新生物.....	346
4. 耳管内異物.....	347
5. 外耳の感染.....	347
6. 急性中耳炎.....	348
III. 口腔	349
A. 口腔一般.....	349
1. 胎生学的事項.....	349
2. 解剖学的事項.....	349
3. 口腔の機能.....	349
4. 外傷.....	349
B. 口唇の悪性腫瘍.....	350
C. 舌.....	351
1. 発生学的事項.....	351
2. 解剖学的事項.....	351
3. 生理学的事項.....	351
4. 先天性異常.....	353
5. 舌外傷.....	353
6. 炎症.....	354
7. 良性腫瘍.....	354
8. 悪性腫瘍.....	354
D. 頸.....	358
1. 発生学的事項.....	358
2. 解剖学的事項.....	358
3. 頸骨骨折—外傷.....	358
4. 炎症.....	362
5. 頸骨の新生物.....	362
E. 咽頭.....	366
1. 急性扁桃炎.....	366
2. 敗血症性咽喉炎（扁桃腺炎）.....	366
3. 瘤.....	366
4. 扁桃周囲膿瘍.....	366
5. 咽頭側膿瘍.....	366
6. 咽頭後膿瘍.....	366
F. 唾液腺.....	367

1. 解剖および生理	367
2. 先天性奇形	370
3. 外傷	370
4. 唾液嚢	370
5. 異物	370
6. 唾液結石症	371
7. 炎症	371
8. 特異性炎症	372
9. 良性腫瘍	373
10. 混合腫瘍	373
11. 悪性腫瘍	374
第20編 頸部	桑原悟 375
I. 先天異性	375
1. 解剖学的事項	375
2. 正中頸囊胞および瘻、側頸囊胞および瘻	377
3. 頸部囊水腫（頸部囊胞状リンパ管腫）	381
4. 頸部リンパ管腫	382
5. 血管腫	382
6. 血液囊胞	382
7. 頸肋（骨）	383
8. 斜角筋症候群	382
9. 斜頸	383
II. 頸部外傷	383
1. 一般的事項	383
2. 内臓の損傷	385
3. 治療	386
III. 頸部リンパ節	388
A. 炎症	388
1. 急性化膿性炎症	388
2. 単純慢性炎症	388
3. 結核性リンパ節炎、リンパ節結核、ルイレキ	389
4. 梅毒性リンパ節炎	392
B. リンパ節の系統疾患	393
1. 白血病時のリンパ節腫脹	393
2. 偽白血病性リンパ節腫脹、Hodgkin病	393
C. 肿瘍	394
1. 原発性腫瘍	394
2. 2次性腫瘍	395
IV. 頸部膿瘍および腫瘍	396
1. 深部膿瘍	396
2. 咽頭後部膿瘍	396
3. ルードウィッヒ口狭窄	397
4. 木様蜂窩織炎	397
5. 放線菌症	397
6. 頸部カルブンケル	397
7. 側迷入甲状腺	398
8. 良性腫瘍	398
9. 悪性腫瘍	398
V. 喉頭、気管	400
1. 喉頭の損傷	400
2. 両側麻痺	401
3. 異物	401
4. 感染	401

5. 喉頭の急性炎症性浮腫（声門浮腫）	401
6. 非炎症性喉頭水腫	402
7. 痢痕性喉頭狭窄	402
8. 喉頭腫瘍	402
9. 気管（気管支）の外傷	402
10. 気管の炎症	403
VII. 食道（頸部）	403
1. 胎生学的事項	403
2. 外科解剖学	403
3. 生理学的事項	405
4. 発育異常	406
5. 狹窄	406
6. 外傷	406
7. 炎症	406
8. 腫瘍	406
VIII. 甲状腺	406
A. 概論	406
1. 発生学的事項	406
2. 外科解剖学	408
3. 血液の供給	409
4. リンパ循環	410
5. 神経	410
6. 構造	411
B. 病理解剖	413
1. 奇形	413
2. 退行変性	413
3. 痣痕	414
4. 石灰化	415
5. 炎症	415
6. 機能低下	416
7. 機能亢進	416
8. 正常甲状腺機能性の甲状腺腫	417
9. 良性腫瘍	418
10. 悪性腫瘍	418
C. 生理学的事項	420
1. 甲状腺ホルモンの生物学的作用	420
2. 甲状腺ホルモンの種類	421
3. 甲状腺ホルモンの生産部位とその運命	423
4. 血中ホルモン量とホルモン移送	423
5. 向甲状腺ホルモン	423
6. 甲状腺機能の調節	424
7. 甲状腺機能と他内分泌腺機能との関係	424
8. 甲状腺機能抑制剤	426
9. 甲状腺ホルモンの臨床的応用	427
10. アンチホルモン	428
D. 研究室内検査法	431
E. 先天性異常	434
F. 甲状腺機能亢進症	435
G. 機能低下	445
1. 粘液水腫	445
2. 小人症、クレチン	445
H. 単純性良性甲状腺腫	446
I. 悪性腫瘍	448
J. 甲状腺炎	453
1. 急性甲状腺炎	454

2. 急性甲状腺腫炎.....	455
3. de Quervain 巨細胞型甲状腺炎, 亜急性甲状腺炎, 肉芽形成性甲状腺炎.....	456
4. 慢性非特異性甲状腺炎.....	457
5. 特異性炎症.....	460
K. 胸腺と甲状腺.....	460
VIII. 上皮小体(副甲状腺)	461
1. 発生ならびに解剖学的事項.....	461
2. 生理学的事項.....	462
3. 検査法.....	462
4. 上皮小体機能亢進.....	462
5. 上皮小体の機能減退.....	464
IX. 胸腺	466
1. 増殖.....	467
2. 良性腫瘍.....	467
3. 悪性腫瘍.....	467
4. 重症筋無力症の場合の胸腺.....	467
第21編 乳 腺.....	藤森正雄..... 469
I. 乳腺の発生学	469
II. 乳腺の生理学	469
1. 新生児および小児期の乳腺.....	469
2. 思春期の乳腺.....	470
3. 成熟期の乳腺.....	470
4. 月経周期の乳腺.....	471
5. 妊娠期および授乳期の乳腺.....	471
6. 経閉後の乳腺.....	472
III. 乳房の解剖学	472
1. 乳房の構造.....	472
2. 乳房の血管系.....	472
3. 乳房のリンパ系.....	474
4. 乳房の神経系.....	475
IV. 乳房の形態異常および機能異常	475
1. 乳房の奇形および変形.....	475
2. 乳腺の機能異常.....	479
V. 乳房の損傷	479
1. 乳頭の表皮剥脱および亀裂.....	479
2. 乳房の損傷, 切創, 熱傷など.....	480
VI. 乳房の炎症	480
1. 乳房表層の炎症.....	480
2. 急性化膿性乳腺炎.....	480
3. 酔滯性乳腺炎.....	481
4. まれな急性乳腺炎.....	481
5. 結核性乳腺炎.....	481
6. まれな慢性乳腺炎.....	482
VII. 慢性乳腺症	483
1. 発生.....	483
2. 病理.....	484
3. 症状および診断.....	486
4. 乳腺症と乳癌との関係.....	487
5. 治療.....	489
VIII. 乳腺の良性腫瘍	489
1. 乳腺乳頭腫.....	489

2. 乳腺線維腺腫.....	491
3. まれな良性腫瘍.....	493
IX. 乳癌	494
1. 発生.....	494
2. 病理.....	495
3. 症状.....	499
4. 診断.....	501
5. 経過および予後.....	505
6. 治療.....	506
7. 男子乳癌.....	518
8. 転移性乳腺悪性腫瘍.....	518
X. 乳腺肉腫	519
第22編 胸壁、胸膜および肺.....	早田義博 523
I. 胸部外科の検査法	523
A. X線検査.....	523
B. 内視鏡検査.....	526
C. 細菌検査および細胞診.....	527
D. 各種生検法.....	528
E. アイソトープによる検査法.....	529
F. 肺機能検査法.....	529
1. 換気機能.....	529
2. 換気機能の評価.....	531
3. 左右別肺機能検査法.....	531
4. 肺内ガス分布.....	531
5. 扩散.....	533
6. 換気血流分布.....	533
7. 血液ガスと酸塩基平衡.....	533
8. 肺循環.....	533
9. 換気循環機能の負荷試験.....	534
10. 換気力学.....	534
11. アイソトープ利用による肺機能検査.....	535
12. 手術適応決定のための肺機能の評価.....	535
II. 胸部損傷	536
A. 胸部鈍傷（閉鎖性あるいは非穿通性損傷）.....	536
1. 胸部震盪症.....	536
2. 胸部圧迫症.....	536
3. 胸部挫傷.....	537
B. 胸部銳傷（開放性あるいは穿通性損傷）.....	537
C. 胸壁の損傷.....	538
1. 胸壁軟部組織の損傷.....	538
2. 胸壁血管の損傷.....	538
3. 肋骨骨折.....	538
4. 胸壁の挫滅創.....	540
5. 胸骨骨折.....	540
D. 胸膜の損傷.....	541
1. 外傷性気胸.....	541
2. 外傷性血胸.....	544
3. 乳糜胸および胆胸.....	545
E. 肺損傷.....	545
1. 肺の皮下損傷.....	545
2. 肺の穿通性損傷.....	546
3. 外傷性肺炎および外傷性無気肺.....	547
F. 縱隔、横隔膜および心臓損傷.....	547

1. 気管および気管支損傷	547
2. 食道損傷	548
3. 縦隔血腫	548
4. 外傷性縦隔気腫	548
5. 外傷性縦隔炎	549
6. 横隔膜損傷	549
7. 心臓損傷、心臓皮下損傷	551
III. 胸壁外科	551
A. 胸壁の炎症	551
1. 軟部組織の急性化膿性炎症	551
2. 骨性胸壁の急性化膿性炎症	552
3. 胸壁の慢性炎症	552
B. 肋骨の特殊疾患	554
1. ティーチェ病、肋軟骨異常症	554
2. 限局性線維性肋骨骨炎	554
C. 胸壁の腫瘍	555
1. 胸壁軟部の腫瘍	555
2. 胸骨および肋骨の腫瘍	555
D. 胸壁の変形と奇形	555
1. 胸壁全体としての変形	555
2. 胸骨の奇形	557
3. 肋骨の奇形	557
4. 胸壁筋肉の異常	557
IV. 胸膜外科	558
A. 膜胸	558
1. 急性膜胸	558
2. 慢性膜胸あるいは陳旧性膜胸	563
3. 結核性膜胸	565
B. 胸膜の腫瘍	566
1. 良性腫瘍	566
2. 悪性腫瘍	566
V. 肺の構造と臨床的意義	567
A. 気管支肺胞系	567
1. 気管支の微細構造	567
2. 肺葉気管支と肺葉	568
3. 区域気管支と肺区域	568
4. 気管支末梢部と肺胞領域	570
B. 肺の血管系	570
1. 肺動静脈系	570
2. 気管支動静脈系	571
3. 肺のリンパ系	571
C. 肺の神経系	572
VI. 気管支および肺外科	573
A. 先天性気管支肺疾患	573
1. 先天性食道閉塞を伴う気管食道瘻	573
2. 先天性肺動静脈瘻	574
B. 気管支瘻、肺瘻	574
1. 気管支胸膜瘻	574
2. 気管支食道瘻	575
3. 横隔膜下臟器と気管支瘻	575
4. 外気管支瘻	576
C. 気管支狭窄および閉塞	576
1. 気管支狭窄および閉塞とその症状	576
2. 気管支異物	577

D.	中葉症候群.....	579
E.	術後無気肺あるいは肺虚肺.....	579
F.	気管支拡張症.....	582
G.	肺の囊胞性疾患.....	589
1.	1. 気管支性囊胞.....	589
2.	2. 囊胞性気管支拡張症.....	590
3.	3. 肺胞性囊胞.....	590
4.	4. 異常動脈による sequestration.....	591
5.	5. その他の囊胞性疾患.....	592
H.	自然気胸.....	592
I.	肺の寄生虫.....	592
1.	1. 肺包虫症.....	592
2.	2. 肺吸虫症, 肺ジストマ症.....	594
J.	肺真菌症.....	594
1.	1. 肺放線状菌症.....	595
2.	2. 肺カンジダ症.....	595
3.	3. 肺アスペルギールス症.....	596
K.	肺化膿症.....	597
L.	慢性肺炎, リポイド肺炎.....	603
M.	肺結核の外科的療法.....	604
1.	1. 肺結核の外科療法の歴史.....	604
2.	2. 肺結核外科療法の適応の大要と術式.....	604
3.	3. X線像よりみた外科療法の目標となる病巣.....	605
4.	4. 病巣の広がりと肺機能.....	606
5.	5. 各術式とその適応.....	607
6.	6. 耐性菌排泄例の肺切除.....	610
N.	気管の原発腫瘍.....	610
O.	良性肺腫瘍.....	611
1.	1. 気管支腺腫.....	611
2.	2. 過誤腫.....	611
P.	肺癌.....	613
1.	1. 原因.....	613
2.	2. 病理.....	613
3.	3. 症状.....	617
4.	4. X線像.....	617
5.	5. 診断.....	621
6.	6. 鑑別診断.....	623
7.	7. 治療.....	625
Q.	肺肉腫.....	627
R.	転移性肺腫瘍.....	627
S.	気管支喘息の外科療法.....	628
1.	1. 気管支喘息の成因.....	628
2.	2. 治療.....	630
T.	胸壁, 胸膜, 気管支および肺の手術.....	630
1.	1. 肋骨切除.....	630
2.	2. 胸骨切除.....	631
3.	3. 胸膜切開.....	631
4.	4. 開胸術.....	631
5.	5. 閉胸.....	633
6.	6. 肺の縫合.....	633
7.	7. 気管支の手術.....	633
8.	8. 肺切開, 空洞切開.....	634
9.	9. 肺摘除術.....	635
10.	10. 肺葉切除.....	635
11.	11. 区域切除.....	635
12.	12. 部分切除, 楔状切除.....	636

第23編 心および心臓	榎原 伸	637
第1章 総 論		
A. 心臓外科の進歩		637
B. 心臓の解剖および生理		638
C. 外科の対象となる主な心・心臓・近接大血管の疾患		642
D. 心疾患の診断		642
E. 開心術		647
第2章 各 論		
I. 先天性心疾患の概説		652
1. 循環器の発生学		652
2. 先天性心疾患の種類		655
3. 先天性心疾患の診断		656
4. 先天性心疾患手術の適応		660
5. 手術方法		660
6. 手術の危険率		662
II. 先天性心疾患の各論		662
A. 心臓転位		662
1. 単独右心症		662
2. 完全内臓転位		662
3. 左心症		663
B. 大静脈の異常		663
1. 上大静脈残遺		663
2. 下大静脈の左心房への開口		663
3. 下大静脈の上大静脈への合流		663
C. 心房の奇形		664
1. 心房中隔欠損		664
2. 心内膜床欠損		666
3. 单心房		669
4. 三房心		669
5. 肺静脈還流異常		670
D. 三尖弁の奇形		672
1. 三尖弁閉鎖		672
2. Ebstein奇形		673
E. 左室右房交通症		676
F. 心室中隔の奇形		677
1. 心室中隔欠損		677
2. 单心室		679
G. 心室流出路の異常		680
1. 純型肺動脈狭窄		680
2. 純型肺動脈閉鎖		681
3. 大動脈狭窄		681
4. バルサルバ洞動脈瘤およびその破裂		683
H. 大血管の回転・分割に関係ある奇形		684
1. Fallot四徴		684
2. 両大血管右室起始症		688
3. 大血管転位		689
4. 修正位大血管転位		693
5. Taussig-Bing奇形		696
6. 総動脈管症		697
7. 大動脈隔壁欠損		698
I. 大動脈およびその分枝の異常		698
1. 動脈管開存		698

2. 大動脈絞窄	700
3. 大動脈弓異常	701
4. 大動脈離断	701
J. 冠動脈の奇形	702
1. 左冠動脈の肺動脈起始	702
2. 冠動脈瘻	703
III. 後天性心疾患	703
A. 心臓外傷、異物	703
1. 心臓損傷	703
2. 心臓異物	704
B. 心膜疾患	705
1. 急性心膜炎	705
2. 収縮性心膜炎	706
C. 心臓弁膜症	708
1. 外科的立場からみた弁膜症の病理	708
2. 症状・診断	709
3. 弁膜症の手術	714
D. 冠動脈疾患(後天性)	721
1. 主な手術式	722
a. 内胸動脈・心筋内植込術	722
b. バイパス法	723
c. Gasendarterectomy	724
d. 心筋切除	724
2. 虚血性心疾患の各種状況下の手術	724
E. 重症不整脈に対する外科処置	727
F. 心臓移植	728
第24編 縱隔および横隔膜	729
織畑秀夫	729
I. 縱隔	729
A. 解剖	729
B. 縱隔の損傷	729
C. 縱隔炎	730
1. 急性縱隔炎	730
2. 慢性縱隔炎	731
D. 縱隔の転移および縱隔ヘルニア	731
E. 縱隔腫瘍	732
F. 胸腺	734
G. 胸管	734
1. 解剖	734
2. 胸管損傷	735
II. 横隔膜	735
1. 解剖	735
2. 横隔膜損傷	737
3. 横隔膜の炎症	738
4. 横隔膜の腫瘍	738
5. 横隔膜ヘルニア	738
6. 横隔膜弛緩症	741
7. 横隔膜憩室	741
8. 横隔膜麻痺	742
9. 吃逆	742
索引	743

上巻内容目次

第1編 序論	福田 保
第2編 麻酔	山村秀夫
第3編 無菌法および外科手術	浅野 献一
第4編 術前術後の管理	和田寿郎 渋谷雄也
第5編 輸血および輸液	小出来一博
第6編 ショック、水分・電解質および酸塩基平衡	綿貫 喆
第7編 外科と内分泌	渋沢 喜守雄
第8編 損傷	羽田野 茂 大谷五良
第9編 炎症	和田達雄 白羽 弥右衛門
第10編 腫瘍	若林 修 西村五郎
第11編 化学療法	白羽 弥右衛門
第12編 放射線療法	佐々木常雄
第13編 外科における骨・関節その他	児玉俊夫
第14編 血管系	石川浩一 三島好雄
第15編 リンパ系	石川浩一 三島好雄
第16編 形成外科	丹下一郎
第17編 臓器移植および人工臓器	
第1章 臓器移植	稻生綱政
第2章 人工臓器	渥美和彦